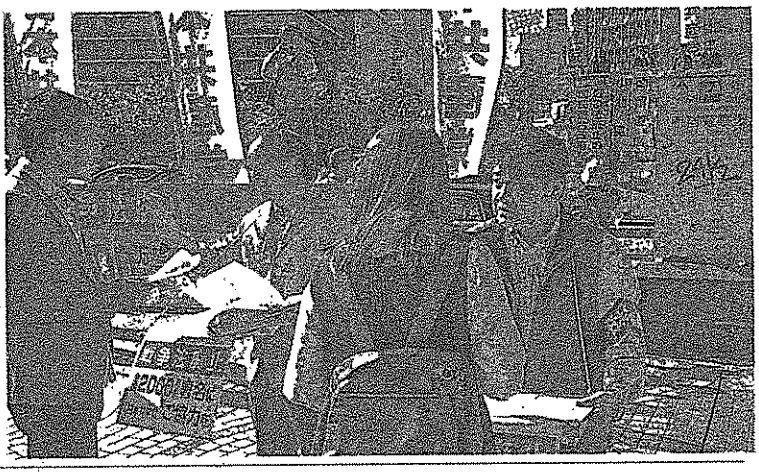
2000万署名に反響

戦争法廃止 共産党がスタート宣伝

小池副委員長訴え 東京・新宿駅前

日本国憲法公布69年を迎えた3日、日本共産党は東京・新宿駅西口で緊急街頭宣伝にとりくみ、戦争法の廃止を求める全国2000万人署名を呼びかけました。小池晃副委員長が「戦争法廃止の声をいっそう広げるため、地元でも署名を広げてください」と訴えると、若い母親、背広姿の男性らが次つぎと足を止めました。



戦争法廃止を求める全国2000万人署名を呼びかける日本共産党の街頭宣伝。車上で訴えるのは小池晃副委員長＝3日、東京・新宿駅西口

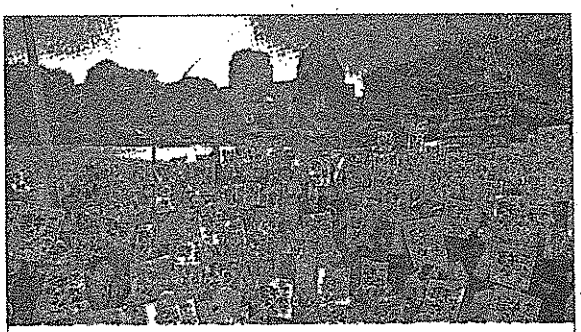
同署名は「戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会」をはじめとする29団体が呼びかけています。来年5月3日の憲法記念日にむけ全国で2000万人を目標に集め、戦争法廃止を求める世論を圧倒的に高揚させる取り組みです。今回の行動は共産党としてスタート宣伝となりました。作家の澤地久枝さんは、宣伝カーの上から小池氏のかけ声で、いっせいに「アベ政治を許さない」と書いたプラカードを掲げました。

小池氏は、戦争法強行の安倍首相に対し「最高権力者が憲法の上に自らをおく、国家の下に個人をおく、これはもはや民主主義ではない。独裁政治ではないか」と批判しました。配布していた「しんぶん赤旗」特別号外を握って「そうだ」と声をかける女性も。

小池氏は、立憲主義と民主主義を取り戻す「国民連合政府」が必要と力説。「戦争法廃止の一点で立場を超えて力を合わせよう。『野党は力を合わせろ』『野党は共闘』の声を広げてほしい」と訴えました。

都議の大山とも子、徳留道信、松村友昭3氏が訴え。「署名運動を大きく成功させ、安倍自公政権を退陣に追い込みましょう」と呼びかけました。

新宿区に暮らす佐野軍治郎さん（71）は「野党共闘に大賛成です。憲法の解釈を変えて、米軍と一緒に戦争しようとするなんて許せない。最悪の安倍政権を倒したい」と語りました。



国会前「アベ政治を許さない」

「アベ政治を許さない」とポスターを掲げて訴える人たち＝3日午後1時、国会正門前

➡記事⑮面

ダブル選さよなら橋下「維新」

みんなの力で新しい大阪へ

「会」演説 山下書記局長が訴え

知事選あす告示

22日投開票の大阪府知事・市長ダブル選挙での栗原貴子府知事候補と柳本顕市長候補の必勝で橋下「維新」政治に終止符を打とうと全力を挙げる「明るい民主大阪府政をつくる会」と「大阪市をよくする会」は3日、大阪市のなんば高島屋前で街頭演説を行い、両会に加わる日本共産党の山下芳生書記局長が、平松邦夫前大阪市長らとともに訴えました。知事選は5日、市長選は8日に告示されます。

山下芳生書記局長の訴えを聞く人たち＝3日、大阪市中央区

山下氏は、自民党推薦の両候補をみんなで応援するのは「それほど橋下『維新』が大阪で行ってきた政治が危険だからだ」と指摘。大阪市をなくす「大阪都」構想など民主主義や住民自治を破壊する「異質の危険」を告発し、「みんなで力を合わせて橋下『維新』政治を終わらせよう」と呼びかけました。

「都」構想反対の共同を通じて「維新」以外の会派に広がった政策的共通点や子ども医療費助成の拡大など両候補の公約を紹介。橋下「維新」流の異論の排除ではなく、議論ができることが大事だと述べ、「橋下『維新』政治を終わらせて、住民の声に聞く耳をもつ、民主主義が大切にされる大阪の政治になれば、府民・市民の要求実現に道が開かれる」と強調しました。

最後に、「大阪が変われば日本が変わる」という1970年代以来の革新陣営のスローガンが「大阪における独裁政治に反対し、民主主義を大切にするすべての人々の共通のスローガンとなっている」と述べた山下氏が、「共同の力で新しい大阪をつくろう」と呼びかけると「そうだ」の歓声と大きな拍手が起こりました。

落語家の笑福亭竹林さんの司会で始まった街頭演説では、「明日の自由を守る若手弁護士の会」の中村里香弁護士が「橋下氏は、憲法違反の行為でも選挙で選ばれたのだからとやってしまう。市民の声無視、市政の私物化こそ維新政治の本質だ」と批判。平松前市長が「お上任せが一番似合わないのが民力のまち大阪だ」と述べ、橋下「維新」政治を終わりにするよう呼びかけました。

11/4
赤旗